

2021年度事業報告及び決算報告

1. 2021年度事業概況について

2021年度は法人設立20年目の年でした。引き続き新型コロナウイルス感染対策に最重点で取り組むとともに、以下のような法人及び施設運営の取組を行いました。

- ① 法人設立20周年記念事業として、記念誌「にじの会のあゆみ～地域と共に」を発刊し記念式典を10月16日に三鷹産業プラザで開催しました。
- ② 「地域住民の一人として普通の生活を送れるように支援する事」という利用者支援目標に基づき、コロナ禍での制約がある中で外部イベントや施設内行事の実施・余暇外出等の社会参加と意思決定支援へのICT活用を重点に支援の質の向上を図りました。
- ③ 2021年度東京都福祉サービス第三者評価を大沢にじの里・にじアート・未来工房にじ・ワークショップハーモニーの4事業所とケアホームにじ・ケアホームにじの森・グループホームにじの空の3事業所(3年毎)について実施しました。
- ④ 1月末にコロナ陽性者52名のクラスター感染が発生しましたがBCP対応により約2週間で収束しました。引き続き感染対策を徹底し感染防止に努めています。
- ⑤ 地域貢献事業として実施している買い物送迎支援事業は、クラスター感染が発生した2月に一時中止しましたが、3月からは安全を確保した方法で再開しています。

2. 2021年度の決算について

にじの会の2021年度決算の概況は以下の通りです。

- ① 事業活動収支は、通常の運営状況を示す経常増減差額が1125万円の黒字で昨年より936万円減少しています。就労売上は下げ止まり325万円増加、支援事業収益も354万円増加しましたが、人件費・PCR検査費用等の費用増加1546万円を吸収できませんでした。20周年記念事業費用等の特別増減差額の赤字226万円を控除した当期事業活動増減差額は899万円の黒字でした。
- ② 資金収支は、通常運営の収支を示す事業活動資金収支の黒字4603万円に施設整備等寄付金収入100万円を加えた4703万円を原資に、771万円の設備投資と722万円のアート償還金その他による施設整備等資金収支の支出1499万円を控除し、さらにその他の活動資金収支の20周年事業費用217万円を控除することで、2987万円の当期資金収支黒字となっています。
- ③ 2021年度末の財政状態は、総資産22億3624万円・負債1億9557万円・純資産20億4066万円で、国庫補助金等特別積立金の償却による減少で昨年より355万円純資産が減少しています。